批准の濟むで失業者は出さぬ

海軍次官と勞働問答に 成功して引揚げた官業代表者

官業勞働代表者安達外四名は廿二日午後四時十分頃海相を海軍省に訪問し、岡田次官が代つて面接した、委員は先づ海軍職工七万五千の中約四割の失業者を出すさうだが事實かと詰問した、次官は海軍省としては失業者を出さぬ積りであると答へた、然らば海軍費四億何千万圓中主力艦建造費一億八千万圓を削除されて且つ職工に失業者を出さずに濟むかと委員が詰問した、次官は『主力艦建造中止と云ふ事は藩府會議に陳んだ五大強國の批准を經ぬ中は日本だけ艦の建造を中止する譯には行かぬ』と苦しい答辯を與へた、委員は『何故主力艦の建造中止をしたのか』と突込む『建造中止と云つても建造中止となるのである』と次官が云ふ事を議會で言明したのである』と次官が突放す、委員は幾分か焦れ氣味になつて『要するに失業者を出すのか、出さぬのですか』と詰めよる、次官は『五大國の批准が濟んで、臨時議會の終るまでは、絶對に海軍職工の失業者を出さぬ』と斷言した、委員は尚も追

コヂつけた

『海相は議會の失業救濟建議案に對し、相當に研究してゐると言明したではないか』と委員が、ずゞと詰寄る『それは失業者の出た場合に、海相が救濟すると云ふ事を議會で言明したのである』と次官が突放す、委員は幾分か焦れ氣味になつて『要するに失業者を出すのか、出さぬのですか』と

猛襲す

る、次官は『五大國の批准が濟んで、臨時議會の終るまでは、絶對に海軍職工の失業者を出さぬ』と斷言した、委員は尚も追撃する『今後海軍職工の給料を減じますか』『今後は減ぜぬと思ふ』次官の言明を得て委員は『海軍職工廠は職工に對して、勞働組合に加入すると直に

馘首す

ると謂はれてゐるが事實ですか』と問ひ、次官は『勞働組合に加入しても絶對に解雇しない』と言明し、二時間餘の押問答に非常な成功を收めて委員は六時廿分頃引揚げた

膝詰談判を始めた官業勞働代表

海相は面會拒絶

奥議長は切り出す

加藤海相に面會を申込へ官業勞働全權の解雇を要求へと完つ内閣朝野に大波紋の飛ばれんとする矣日曜日に入つて東京鐵は芳川、横[illegible]

[illegible]

[illegible]